

令和6年度

地域スポーツクラブ活動体制整備事業

地域スポーツクラブ活動への移行に向けた実証事業

岐阜県 山県市

自治体名：岐阜県 山県市

担当課名：教育委員会生涯学習課

電話番号：0581-22-6845

1.自治体の基本情報

基本情報

面積	総面積221.98km ²
人口	24,811人
公立中学校数	3校
公立中学校生徒数	584人
部活動数	27部活 *後期22部活
市区町村の協議会・検討会議等の設置状況	設置済
市区町村の推進計画・ガイドライン等の策定状況	策定済

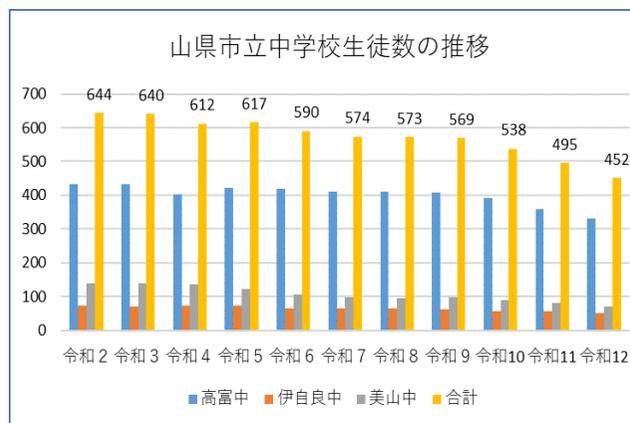
地域連携・地域移行における市区町村の現状・課題

1 現状

- 部活動加入率 79% (前年比 6%減)
【割合：運動系 72%、文化系 28%】
- 平日活動日 週 1 日 (冬季はなし)
 - ・ 3 校合同部活動 (バス送迎)
- 今後 10 年で市内中学生 35%減
 - ・ 本年 612 人 → 2032 年 400 人
- 市合同部活動の推進
 - ・ 運動系 10 部、文化系 4 部
- 総合型地域スポーツクラブとの連携
 - ・ 2001 年度から休日は地域で実践

2 課題

- 休日部活動の地域移行の拡大を図る
- 生徒の意識をつかみ、指導改善につなぐ
- 総合型地域スポーツクラブと体育協会との協力体制を強化する
- 休日の部活動移動支援バス等の運行支援による保護者負担の軽減を図る
- 日頃の指導改善につながる研修会を開催し、指導者のスキルアップを図る



山県市立小・中学校の児童生徒数推計表より作成

令和6年度 山県市立中学校部活動の現状

- 1 部活動加入割合 79% (高富中 77%、伊自良中 83%、美山中 82%)
- 2 種類別加入者数 運動部活動 72%、文化系部活動 28%
- 3 部活動形態

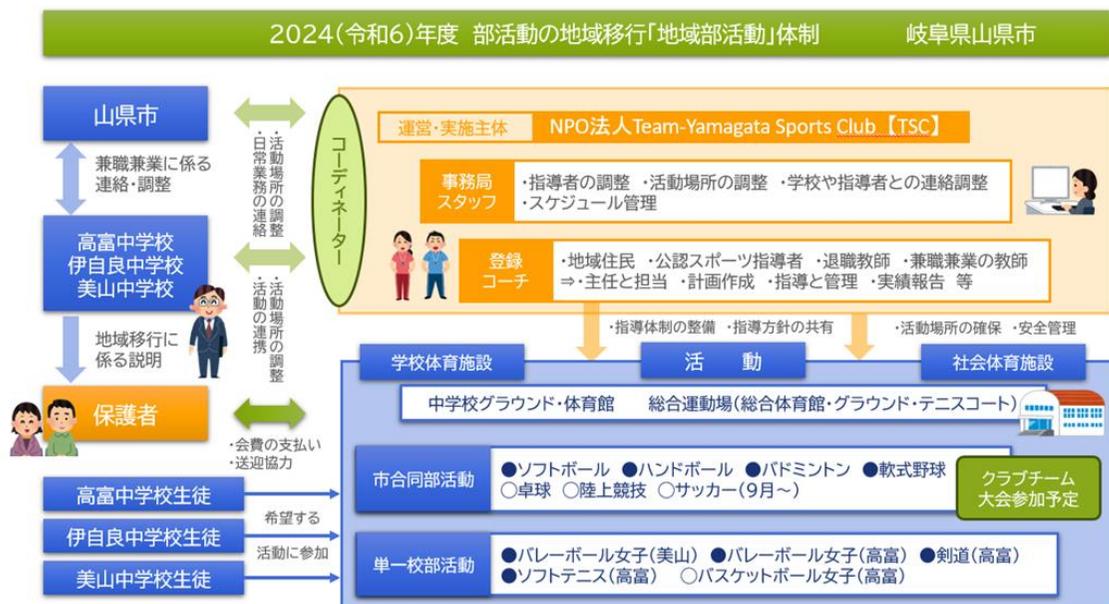
形態	部員数		部数	
	前期	後期	前期	後期
合計数	460	294	27	22
(1) 山県市合同部活動	326	261	14	17
運動	軟式野球・ソフトボール・サッカー・女子バスケットボール・ハンドボール・バドミントン・卓球・柔道・男子ソフトテニス・陸上 〔後期から〕男子バレーボール・男子バスケットボール・剣道			
文化	吹奏楽・演劇・美術・新聞			
(2) 2校合同部活動	0	7	0	1
運動	〔後期から〕女子バレーボール (伊自良・美山)			
(3) 単一校部活動	134	26	13	4
運動	男子バレーボール2・女子バレーボール3・男子バスケットボール2・剣道2・女子ソフトテニス3 〔後期〕女子バレーボール1・女子ソフトテニス2			
文化	確定1			

山県市立中学校への調査結果より作成

2.実証内容と成果

運営体制・役割

●運営体制図（市区町村における推進体制図）



●行政組織内での役割分担

◎教育委員会(生涯学習課)主管課

- ・コーディネーター（総合型クラブと学校、市教委との連絡調整）
- ・部活動の地域移行事業の方針と事業展開
- ・地域指導者研修会（県及び市）

◎教育委員会(学校教育課)

- ・山県市合同学校部活動の推進に係る方針、年度計画作成
- ・平日部活動の送迎バス運行
- ・地域移行に関する諸課題・事業の共有と協議

年間の事業スケジュール

令和6年	4月	主任指導者との打合せ・確認
令和6年	6月	第1回スキルアップ研修会 (暴力根絶・救急法・熱中症予防)
令和6年	8月	第2回種目別スキルアップ研修会 (バスケットボールクリニック)
令和6年	8月	新たな地域スポーツ環境を考える会 (スポーツリンク白川視察研修)
令和6年	9月	新たな地域スポーツ環境を考える会 (関係団体との連携強化)
令和6年	9月	今後の部活動方針を発信 (中学校長会)
令和6年	9月	中学生スクール訪問 (TSC倫理委員会訪問)
令和6年	9月	中学生への意識調査実施
令和6年	11月	第3回スキルアップ研修会 (体力測定の生かし方)
令和7年	1月	第4回スキルアップ研修会 (冬季のトレーニング指導)
令和7年	2月	来年度の方針に係る関係者協議 (TSC, 中学校長会, 市教委)
令和7年	3月	地域部活動種目関係者打合せ (顧問・主任コーチ・保護者会代表)

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

①全体に関すること

中学校数	市内3校	実施した地域クラブ総数	12クラブ
ケース別クラブ数	A：部活動を地域移行した形のクラブ数（及び移行された部活動数）		12クラブ（12部活）
	B：部活動を移行する形態ではない地域クラブ（新たな種目のクラブを新規に創設するケース等）		0クラブ
全体の指導者数	46人	全体の運営スタッフ数	5人

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体 種別	種目 ※新規のものは未 尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者 数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方 法
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	バレーボール	月4回/ 週1回	13:00-16:00	1年-7人 2年-7人 3年-9人	4/1~ 3/31	美山中学校 体育館	3人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	ハンドボール	月4回/ 週1回	9:00-12:30	1年-14人 2年-15人 3年-2人	4/1~ 3/31	高富中学校 体育館	4人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	剣道	月4回/ 週1回	9:00-12:30	1年-3人 2年-4人 3年-5人	4/1~ 3/31	総合体育館 多目的ホール	4人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に（新）を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	女子 バスケット (新)	月4回/ 週1回	13:00-16:00	1年-14人 2年-6人 3年-3人	4/1~ 3/31	高富中学校 体育館	6人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	バドミントン	月4回/ 週1回	9:00-12:00	1年-19人 2年-9人 3年-17人	4/1~ 3/31	総合体育館	3人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	卓球(新)	月4回/ 週1回	9:00-12:00	1年-7人 2年-11人 3年-3人	4/1~ 3/31	高富中央 公民館	3人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	男子/女子 ソフトテニス	月4回/ 週1回	9:00-12:00	1年-6人 2年-14人 3年-10人	4/1~ 3/31	総合テニス コート	6人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	陸上(新)	月4回/ 週1回	9:00-12:00	1年-5人 2年-5人 3年-6人	4/1~ 3/31	高富中学校 グラウンド	3人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ

2.実証内容と成果

地域スポーツクラブ活動の運営実績

②各クラブに関すること

クラブ名	運営団体種別	種目 ※新規のものは末尾に(新)を付ける	実施回数	実施時間帯	参加者 (学年別)	実施期間	活動場所	指導者数	運営スタッフ数 (他クラブと兼務)	会費	大会参加方法
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	ソフトボール	月 4 回/ 週 1 回	9:00-13:00	1年-5人 2年-1人 3年-3人	4/1~ 3/31	伊自良中 ・総合グラ ウンド	4人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	軟式野球	月 4 回/ 週 1 回	9:00-13:00	1年-8人 2年-5人 3年-10人	4/1~ 10/31	総合 グラウンド	5人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ
NPO法人 チーム ヤマガタ スポーツ クラブ	総合型 地域SC	サッカー(新)	月 4 回/ 週 1 回	9:00-11:00	1年-3人 2年-6人 3年-7人	9/1~ 3/31	高富中学校 グラウンド	4人	4人 (内兼務3人)	年会費 市内7800円 市外8800円	中体連：部 活動 その他：地域 クラブ

③その他、体験会やイベント等の開催実績

「TSCスクール生体力測定会」

令和6年11月30日(土) 7種目37名参加
測定項目：反復横とび、5方向走、立ち幅跳び、垂直とび
測定員：TSCコーチ(指導者研修として参加)

「TSCスクール冬季トレーニング教室」

令和7年1月25日(土)
テーマ「走る・跳ぶ・投げる能力を高める」
講師：岐阜県スポーツ科学センター 研究員

NPO法人 Team-yamagata Sports Club

参加者募集 スクール生 体力測定会 中学生

敏捷性(反復横とび5方向走) パワー(立ち幅跳び、垂直とび)

来年1月25日(土)午後・走跳投など冬季トレーニングの指導を受けます!

講師 JARI認定 特別上級トレーニング指導者 大野 隆成 先生

1. 日 時 令和7年1月25日(土) 18:30~20:00 受付 18:00~

2. 会 場 山県市総合体育館 アリーナ(A・B面) 18:00 受付開始

3. 対 象 15歳未満の中学生(男女) ※中学生は無料参加

4. 申 込 申込は、11月22日(日)まで 18:00 受付終了

5. 内 容 ■体力測定(反復横とび、5方向走)の指導を行います。
■走る・跳ぶ・投げる能力を高めるためのトレーニングを行います。
■指導者の指導方法について、講師の講話を行います。

6. 費 用 参加費は、前払のスポーツ参加費の適用範囲でお願いします。

7. 備 考 ■申し込みは、山県市総合体育館 受付
■お問い合わせ先 TEL:0581-28-9330(1F受付) TEL:0581-22-9922(総合事務局)



運営主体「TSC」作成要項

NPO法人 Team-yamagata Sports Club

走る 跳ぶ 投げる

参加者募集 「走る・跳ぶ・投げる能力を高める」
冬季トレーニング教室

今回は、多くの関心により予定していたよりも多くの参加者があり、予定していたトレーニングを実施できず、途中で参加を中止して帰る参加者もいる中、中学生全員が参加しました。

講師 岐阜県スポーツ科学センター 研究員 大野 隆成 先生

1. 日 時 令和7年1月25日(土) 13:30~15:30 受付 13:00~

2. 会 場 山県市総合体育館 アリーナ

3. 対 象 15歳未満の中学生(男女) ※中学生は無料参加

4. 申 込 申込は、11月22日(日)まで 18:00 受付終了

5. 内 容 ■15歳未満の中学生の体力測定を行います。
■走る・跳ぶ・投げる能力を高めるためのトレーニングを行います。

6. 費 用 参加費は、前払のスポーツ参加費の適用範囲でお願いします。

7. 備 考 ■申し込みは、山県市総合体育館 受付
■お問い合わせ先 TEL:0581-28-9330(1F受付) TEL:0581-22-9922(総合事務局)

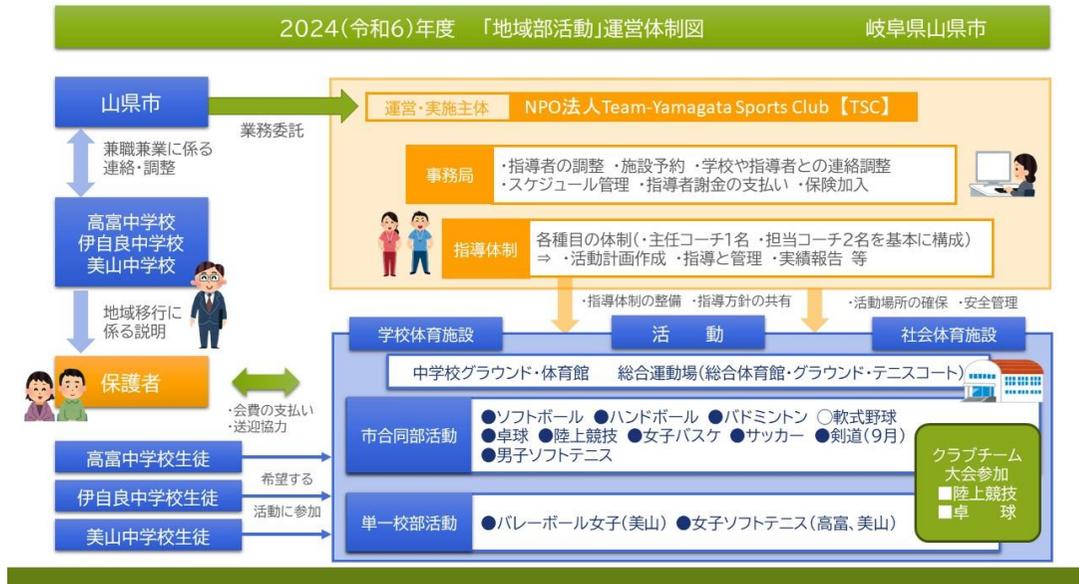
2.実証内容と成果

主な取組例

●NPO法人チームヤマガタスポーツクラブ 活動概要

地域クラブ活動で実施した種目	ソフトボール、ハンドボール、バドミントン 軟式野球、卓球、陸上競技、剣道 女子バスケット、サッカー、男子ソフトテニス、女子ソフトテニス、女子バレーボール
運営団体名	NPO法人チームヤマガタスポーツクラブ
期間と日数	期間：4月～3月 日数：月4回程度
指導者の主な属性	クラブ登録コーチ
活動場所	総合運動場、中学校グラウンド・体育館
主な移動手段	各自移動（保護者送迎）
1人あたりの参加会費等（年額）	入会金（初年度）1,000円 年会費6,000円 （3年生は半期3,000円選択可能）
1人あたりの保険料	スポーツ安全保険 生徒1人あたり：800円/年 指導者1人あたり：1,850円/年

●運営体制図（地域クラブ活動を実施する際の運営体制図）



●指導者や運営スタッフなどの役割分担等

- 統括責任者 理事長兼事務局長
役割：事業の総括、全種目共通取組事項の提示
- 主任指導者 各種目 1名
役割：活動計画・指導方針立案、顧問との連携、管理と指導を行う
- 担当指導者 各種目 2名
役割：技術指導、安全管理指導を行う

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

取組事項

- ・市コーディネーターによる運営団体と中学校との連絡調整を行う。
- ・運営団体の事務局と担当指導者による連携を強化し、円滑な地域クラブ活動の実施に取り組む。
- ・市教委・運営団体合同訪問事業を通じて、指導運営実態を把握し、指導助言を行う。
- ・休日地域クラブ活動のバスによる送迎の需要調査を行う。

取組の成果

○昨年度は、地域移行に係る連絡調整をコーディネーターが細やかに行ってきたが、本年度は中学校(校長会、部活動主任)及び運営団体の総合型地域スポーツクラブTSCが主体的に動いてもらえるようにした。運営団体事務局は事務の流れを把握し、円滑に関係者との連絡調整を行うことができた。また、中学校長会は市の方針を理解し、具体的な方針を作成し、学校側の理解が深まってきた。特に、中体連大会に地域クラブとして2種目が参加したが、顧問・主任コーチが中体連担当者への確認や生徒・保護者への説明を着実にを行い、円滑に参加することができた。

【山県市合同部活動 今後の見通しとして確認事項】
○市の地域部活動への移行の方針
「令和8年度の部活動の地域移行を目指す」それに向け、令和7年度中体連後は山県市合同部活動となるよう話し合いをすすめる。
※人数が試合(団体戦)出場の規定の人数を下回った部は、山県市合同部活動に向けて話し合いをすすめる。ただし、話し合った結果として「学校部活として活動したい部は校長に相談」との記載があり、令和7年度までは認めることもある。
○令和6年度中体連後の新チームの美山、伊自良の部の学校部活について
・伊自良中：学校部活動として活動するのは、女子バレー部1つ。
・美山中：学校部活動として活動するのは、女子バレー部とソフトテニス部の2つ。
・水曜日の部活動については、伊自良、美山のすべての部が高富中へバスで移動し、合同で練習。
※伊自良と美山の女子バレー部は合同チームで活動する。
※男子バレー部は、山県市合同部活動と、岩野田の合同チーム。伊自良中の入部者があれば、岩野田生徒は中体連の現在のルール上参加できないことも考えられる。中体連への要望や、本人への説明が必要。
※ソフトテニス女子は、高富中と美山中は単独だが、伊自良中に入部者あれば山県市合同部活動として高富中と活動し、美山中は学校部活動として活動する予定である。
○規定人数に足りない山県市合同部活動について
・サッカー部は、三輪中と合同で試合に出場
・ソフトボール部は試合に出場しないで練習のみで入部者を待つ
○山県市合同部活動や地域移行に向けて
・令和7年度市の中体連大会は女子バレーと女子ソフトテニスの2種目となる見通し。
・令和7年の中体連後に山県市合同部活になって、令和8年度に地域移行を目指すことや、3校で山県市合同部活動が成立した休日地域移行をしている部はTSCで中体連に出場することが可能となる。これらを学校や顧問は保護者会に周知していく。
※職員もこれらの動きを理解し、保護者会の合同化、ユニフォームの名前、コーチ、練習会場、TSCへ登録など今から必要な情報を提供し、生徒や保護者の合意を得られるようにする。

今後の部活動について(抜粋) 令和6年9月6日 中学校長会

コーディネーターの具体的な動きの実績

- 週1回の運営団体事務局とのミーティングを実施した。
- 運営団体が行う指導者研修会の企画立案に係る指導助言を行った。
- 種目関係者(顧問・コーチ・保護者会)からの質問や相談を受け、状況に応じて適切に対応できるように指導助言を行った。

今後の課題と対応方針

- 市内3校の合同部活動の休日活動に係る保護者負担を軽減するためのバス送迎予算化に向けた市との協議を行う必要がある。
- 受益者負担と公費負担並びに運営団体への委託費などについての市との協議が必要である。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組事項 TSC倫理委員会 中学生スクール訪問

9月21日(土)に6種目を訪問し、活動見学と委員長からの激励を行った。
 訪問後にクラブハウスで意見交流を行い、訪問の感想を後日まとめて配信した。

TSC倫理委員会スクール訪問日程等について

令和6年9月21日(土) 9:00~12:00

◇趣 旨

- 中学生スクールの活動見学による実態調査
 - ⇒中学生指導者へのお礼と適切な指導の依頼
 - (生徒の成長を支える専門的指導と教育的な配慮、体罰・暴言・ハラスメント根絶)
 - ⇒中学生会員への激励
 - (目標・課題をもって、仲間と意欲的に活動。困ったことの相談)
 - ⇒委員からの感想や意見を指導者に伝え、良い点を広げ、指摘事項は改善につなげる。

◇出席依頼

TSC 倫理委員会

森田正男委員長、山元敏治副委員長、服部長務指導者部会長、武藤敏行イベント部会長
 民谷千寿子理事長兼事務局長、谷端良夫副理事長、前田恵津子地域部活動担当事務局
 *民谷理事長兼事務局長は、バドミントンスクール指導後、ミーティングに参加。

◇日 程

9:00	挨拶・日程説明	(クラブハウス)
9:30	陸上競技	(高富中グラウンド)
9:50	サッカー	(高富中グラウンド)
10:10	バスケットボール	(高富中体育館)
10:30	休憩	(クラブハウス)
10:45	ソフトテニス	(総合テニスコート)
11:15	バドミントン	(総合体育館アリーナ)
11:35	剣道	(総合体育館多目的ホール2F)
12:00	委員ミーティング	(クラブハウス)
12:50	終了	

運営主体「TSC」作成資料

TSC倫理委員会 中学生スクール訪問の様子



本年度から新たに加わった種目 「サッカー」「陸上競技」への訪問



「バスケットボール女子」への訪問



「ソフトテニス男子・女子」への訪問



「バドミントン」への訪問



新チームから市合同部となった「剣道」への訪問

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



スポーツ庁

取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保①

取組の成果

TSC倫理委員会 中学生スクール訪問

○元教育長・小中校長、保健体育科教員OB、元高校バレー監督、県バドミントン協会役員などの実績のあるメンバーで構成された倫理委員会メンバーであり、中学生への望ましい指導について短時間での訪問であっても、よさや課題を見いだすことができた。

以下に、TSC作成の委員感想メモを記載する。

1. 陸上競技

- ・生徒一人一人の能力をつかみ、温かい指導で、また、するどい指導でとてもうれしかった。
- ・リーダーを中心に、よくまとまっていて、気持ちが良い。
- ・個に応じた指導が素晴らしい。生徒のやりがい、生きがいにつながる。
- ・陸上競技は短距離、跳躍、中長距離、投擲と種目が多いため、生徒が取り組む種目に応じた練習方法や個に応じた指導が大変だと思うが、コーチ間で情報共有、指導方法の共有や生徒自身が自分の練習計画を立てる力を育てていただけるとよいと思う。

2. サッカー

- ・コーチが組織だって指導している様子に、とても心強く感じた。
- ・一つの場面での動き・技能を的確に指導し、コーチ間の役割分担や協力体制の中で行われており、複数コーチによる指導の在り方として大変参考になった。
- ・クラブチームが多い中で、TSCに来ている子たちを大切に指導してほしい。

3. バasketボール女子

- ・女子Basketボールの真面目な生徒の取組とコーチの熱意がうれしかった。
- ・生徒自ら進んで練習に取り組む姿が見られた点がよかった。
- ・参加人数も多く、雰囲気もよかった。

4. ソフトテニス

- ・親切な指導がされ、温かさを感じた。指導者の生徒への思いが伝わってきた。
- ・生徒たちも楽しそうに練習しており、このまま指導を続けてほしい。
- ・コーチによる個人指導（言葉と動きで示す）が充実している。
- ・参加人数が多く、活気がある。生徒同士や生徒とコーチのコミュニケーションもよく取れていた。
- ・指導者が生徒にいていねいに指導にしている姿がよいと思う。

5. バドミントン

- ・生徒一人一人への指導を熱心に行っておられた。
- ・多くの生徒が参加しているが、全体的に生徒同士が組織だった感じがあり、とてもうれしかった。
- ・参加生徒数に対する練習コート面数もちょうどよいと感じた。（練習量確保の面）

6. 剣道

- ・熱心で、温かく、一人一人を十分に捉えた指導であり、安定感のある活動であった。
- ・中学校の三校合同での取組がとても素晴らしい。
- ・小学生と一緒に練習する場面があり、異年齢で学ぶよさが感じられた。
- ・活気があってよい。根気強く、粘り強い指導が大切であると感じた。

今後の課題と対応方針

- 各委員からは、昨年度のように全学年が揃う中体連大会前の6月頃に来年度は実施してほしいと要望があった。
- また、全体に対して「今日の目標や課題を全体や個人で明確にもち、練習することを大切にしてほしい。パフォーマンス向上に有効である。」と委員から助言があり、各コーチに伝えていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備

イ：指導者の質の保障・量の確保

ウ：関係団体・分野との連携強化

エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実

カ：参加費用負担の支援等

キ：学校施設の活用等

ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保② オ：内容の充実①

取組事項

指導者研修会の開催

第1回（市体育協会と合同開催） 参加21人

6月8日(土) 13:30～16:30 山県市総合体育館

講義「子どもの権利とスポーツの原則」

講義と演習「救急法及び熱中症予防を学ぶ」

講師 JSPOジュニアスポーツ指導員,日本赤十字社認定救急法指導員

第2回 コーチングクリニック 参加指導者5人・生徒28人

8月4日(日) 13:00～16:00 高富中学校体育館

「バスケットボールのスキルアップを図る効果的なトレーニング」

講師 中部学院大学男子バスケットボール部顧問

第3回 コーチングクリニック 参加指導者18人・生徒37人

11月30日(土)18:30～20:30 山県市総合体育館

「体力測定を指導に生かす」(兼. スクール生体力測定会)

講師 JATI認定 特別上級トレーニング指導者

第4回 コーチングクリニック

1月25日(土)13:30～16:00 山県市総合体育館

「走る・跳ぶ・投げる能力を高める」冬季トレーニングの実践

講師 岐阜県スポーツ科学センター 研究員他

指導者研修会の様子



「第1回研修会」 講義：子どもの権利とスポーツの原則



演習：救急法



「第2回研修会」 バスケットボールのスキルアップを図る効果的なトレーニング



「第3回研修会」 敏捷性2種目・パワー2種目の正しい測定、測定結果の生かし方を学ぶ

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 イ：指導者の質の保障・量の確保②

取組の成果

オ：内容の充実①

指導者研修会の開催

○第1回の研修は、体育協会と総合型地域スポーツクラブによる合同研修会（コンプライアンス研修）として開催したことにより、市内スポーツ団体との連携の一步とすることができた。

○第2回の研修は、指導法の研修を希望する種目別クリニックとしてバスケットボールが取り組んだ。中部学院大学顧問を講師に招き、開催したが、その後も講師のご厚意により数回にわたって指導に来ていただくことができ、指導法の工夫改善につながっている。

○第3回の研修は、「スポーツ科学を取り入れた指導改善」をねらいとして開催した。指導者は7種目16人、生徒は7種目37人が参加した。生徒には、個票を後日配布し、主任コーチには一覧を提供することができた。

○第4回の研修は、1月25日に実施するが、第3回の研修とつないだ冬季のトレーニング指導を実施する。講師には、岐阜県スポーツ科学センターに依頼している。



実施後にコーチとの意見交流（上）
講師からの生徒への助言（下）



TSC 中学生体カテスト 記録表

令和6年11月30日(土) 山県市総合体育館

種目名		ハンドボール	
氏名	性別	男子	
	学年	2年	
お疲れ様でした。測定結果をもとに、今後の練習や体カトレーニングの課題をもち、取り組みましょう			
パワー	テスト種目名	元 録	栄 点
	立ち幅とび	255	cm 9点
	跳 躍 高 (器具使用点)	279	cm
	指 高	215	cm
	垂 直 と び (制限高=指高)	64	cm 9点
敏捷性	反復横とび	58	回 8点
	5方向走	13.4	秒 今週の測定結果 15.7 40m×11.6 16.2 20m×11.6 3
各テストの得点表 (男子) ※練習とびは必ず5回以上から10回中、いいほうを採ります。			
得点	立ち幅とび	跳 躍 高	反復横とび
10	26cm以上	67.5cm以上	63回以上
9	254~264	63.5~67.4	60~62
8	242~253	59.5~63.4	56~59
7	230~241	55.5~59.4	53~55
6	218~229	51.5~55.4	49~52
5	203~217	47.5~51.4	45~48
4	188~202	43.5~47.4	41~44
3	170~187	39.5~43.4	37~40
2	150~169	35.5~39.4	30~36
1	14cm以下	35.4cm以下	29回以下
各テストの得点表 (女子)			
得点	立ち幅とび	跳 躍 高	反復横とび
10	210cm以上	51.1cm以上	53回以上
9	200~209	48.2~51.0	50~52
8	190~199	45.3~48.1	48~49
7	179~189	42.4~45.2	45~47
6	168~178	39.5~42.3	42~44
5	157~167	36.6~39.4	39~41
4	145~156	33.7~36.5	36~38
3	132~144	30.8~33.6	32~35
2	118~131	27.9~30.7	27~31
1	117cm以下	27.8cm以下	26回以下

TSC作成「参加中学生に提供した体カテスト記録表」

今後の課題と対応方針

- 本年度第1回の研修会は定番として多くの指導者が参加しやすい日にちを設定する。
- 種目別のクリニック形式は好評であり、来年度も希望種目について実施できるようにしたい。岐阜県スポーツ科学トレーニングセンターの助言をいただきながら、効果的な指導方法を取り入れていきたい。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 ウ：関係団体・分野との連携強化

取組事項

・総合型地域スポーツクラブ、体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員など市のスポーツを推進する団体の連携を強化する。

取組の内容

・山口市スポーツ座談会（仮称）を開催する。
・先進地として、一般社団法人スポーツリンク白川への視察を行う。

取組の概要

①山口市スポーツ座談会(仮称) 6月22日(土)

各団体事業の成果と課題を元に今後のスポーツ推進に係る意見交流を行った。

参加者は、有識者3人、スポーツ団体代表者6人、教育長、行政担当者6人の15人。

②先進地視察（白川町） 8月5日(月)

（一社）スポーツリンク白川設立までの取組及び部活動の地域移行の取組について視察を行った。

参加者はスポーツ団体4人、行政4人。

③山口市スポーツ座談会(仮称) 9月2日(月)

先進地視察を終えた感想を交流し、本市にあった取組について意見交流を行った。出席は、視察参加者。



「スポーツリンク白川への視察の様子」

取組の成果

・スポーツ座談会(仮称)を行い、各団体の事業について理解を深めるとともに、今後のスポーツ推進に係る夢や願いを語り合うことができた。
・スポーツリンク白川の視察を通じて、設立までの苦労や努力、熱意を知ると共に部活動の地域移行の取組も含めて参考になることが多く、「山口市モデル」（山口市の実情に合ったやり方）を見出していくために貴重な機会となった。

今後の課題と対応方針

・多世代、多志向に応えるプログラム（体験、教室、大会等）を整備する上で、体育協会、スポーツ推進委員等の団体が積極的に参画できるように連携を強化していく。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
工：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
 カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 工：面的・広域的な取組

取組事項

- 市内3中学校の部活動を地域移行の取組促進
- 地域クラブでの大会参加の取組促進

活動種目

- ◎ **休日は地域クラブで12種目**
 - ・軟式野球(10月以降は学校)
 - ・ソフトボール ・サッカー ・陸上
 - ・女子バレー ・女子バスケ
 - ・ハンドボール ・バドミントン
 - ・剣道 ・卓球 ・男女ソフトテニス
- ◎ **地域クラブでの大会参加2種目**
 - ・陸上競技 ・卓球

市外中学校との合同活動

「サッカー」クラブ同士の合同練習
 休日は、TSCサッカースクールで岐阜市三輪中学校（みわスポーツクラブ）と合同練習を実施している。お互いに後期は部員数が不足していたことがきっかけである。
 このケースは、運営主体TSCや顧問と協議を行い、安定的に持続できるように進めてきた。

市外中学校からも参加

「卓球」「陸上」「バレーボール」等市外中学生の参加
 ・卓球には卓球部のない岐阜市の中学校から数名参加している。
 ・陸上には近隣市の中学校から練習環境としてTSC会員となり活動している生徒もいる。
 ・女子バレーボールも陸上と同様に練習に参加している生徒がいる。

6年度運動部活動と「TSC」連携及び地域移行の状況

No.	種目	学校部活動				TSC活動 練習活動	大会 参加	合同部・地域移行の状況
		市	高富中	伊白良中	美山中			
1	バドミントン	◎				SA・TA	学校	5年度から移行
2	ソフトボール	◎				SA + SB	学校	5年度から移行
3	陸上競技	◎				SA + SB	TSC	6年度新規移行。TSCで大会参加
4	軟式野球	◎				SA + SB	学校	11月から、指導者確保できるまで学校部活動で
5	ハンドボール	◎				SA + SB	学校	5年度から移行
6	柔道	◎					学校	6年度は指導者確保できず学校部活動で
7	サッカー	◎				SA + SB	学校	6年度後期から新規移行。三輪中と合同活動
8	卓球	◎				SA + SB	TSC	6年度新規移行。TSCで大会参加
9	剣道	◎				SA・TA	学校	5年度から移行。6年度後期から市合同部に
10	男子ソフトテニス	◎				SA + SB	学校	5年度から移行
11	女子ソフトテニス		◎		◎	SA + SB	学校	5年度から移行。活動はTSCで、大会は学校毎で
12	男子バスケットボール	○				SB	学校	6年度後期から市合同部に。休日は学校部活動
13	女子バスケットボール	◎				SA + SB	学校	6年度新規移行。6年度から市合同部
14	男子バレーボール	○					学校	6年度から市合同部。休日は学校部活動
15	女子バレーボール		○	○	◎	SA + SB	学校	美山中は5年度から移行。
計		13	2	1	2	SA12	TSC2	

◎：休日地域部活動実施 ○：休日学校部活動

SA(スクールA地域部活動) SB(スクールBフリー) TA(競技力向上教室)

山県市教育委員会生涯学習課作成資料

取組の成果

- 休日地域部活動は、昨年度8部から本年度12部に増加した。
- 地域クラブでの大会参加は本年度からであったが、陸上と卓球の2部が参加した。
- 地域移行種目は、関係者の理解を得て円滑に実施できた。

今後の課題と対応方針

- 地域クラブ指導者を確保する。
 - ・柔道(昨年度末で引退)
 - ・軟式野球(10月で退任)
- 部員数不足の種目の対応を学校側と協議する。
 - ・休廃部、他校(他市)との合同の方針を明確にする。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
イ：指導者の質の保障・量の確保
ウ：関係団体・分野との連携強化
エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
キ：学校施設の活用等
ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 オ：内容の充実②

取組事項

○競技力向上を志向する生徒へのプログラムを展開する。

- ・バスケットボール教室
- ・体力測定会
- ・冬季トレーニング教室

※活動の詳細は、取組項目イ：指導者の質の保障・量の確保②に掲載した。

○参加生徒への意識調査を実施し、指導改善につなぐ。

- ・実施時期 9月
- ・対象 1,2年生会員

今後の課題と対応方針

■「学び続ける・生徒と共に成長するコーチ」を育成するために、「生徒の声」を真摯に受け止め、「勝利至上主義やマンネリ化した指導」に陥ることなく、課題解決につながる研修会を開催し、スキルアップを図っていく。

意識調査対象

- 調査対象は生徒のみ。
- ・昨年度、生徒・保護者・コーチ・顧問に調査を実施した。本年度は生徒の満足度を中心に調査し、指導改善(内容の充実)に生かすようにした。

意識調査人数

- 119人(1,2年生会員)
- ・バレーボール8 ・サッカー8
 - ・ハンドボール28 ・卓球7
 - ・ソフトボール3 ・剣道7
 - ・バスケットボール10
 - ・バドミントン10 ・陸上競技6
 - ・軟式野球11 ・ソフトテニス21

取組の成果

- ①加入の目的は、「楽しく,向上」が最も多かった。
 - ②TSC活動満足度「4.1」 昨年度と同じ。
 - ③体力/技能の満足度「3.9」 昨年度より0.2ポイント下がった。
 - ④仲間関係満足度「4.1」 昨年度と同じ。
 - ⑤活動日数 学校部活動「60%」 TSC活動「70%」が適当。
活動時間 学校部活動「79%」 TSC活動「75%」が適当。
 - ⑥コーチ指導の満足度「4.0」(4以上が7種目、内4.5以上は4種目)
 - ⑦コーチ指導の感想
指導がわかりやすい「77%」 体力・技能が向上している「75%」
指導が厳しい・わかりにくい「14%」(一部の種目)
 - ⑧改善を期待すること
・方針、頻度、活動内容、指導等に関する意見が出された。
・活動内容と指導に関する記述が最も多かった。
- ★本結果は、各指導者、TSC理事会にて報告され、指導改善への参考とするように取組がなされた。

2.実証内容と成果

ア：関係者との連絡調整・指導助言等の体制や運営団体・実施主体の整備
 イ：指導者の質の保障・量の確保
 ウ：関係団体・分野との連携強化
 エ：面的・広域的な取組

オ：内容の充実
カ：参加費用負担の支援等
 キ：学校施設の活用等
 ク：その他の取組



取組内容

●取組項目名 カ：参加費用負担の支援等

取組事項

TSCは、2001年以来、要保護・準要保護家庭の山県市内小・中学生会費について、年会費を扶助している。

山県市就学援助費支給の可否決定通知書の認定の証明書を持参の上、捺印を頂き申請としている。

取組の成果

■扶助内容

○扶助申請の提出に伴い、既納金額を返金

扶助額(全額返金) ¥7,800

(内訳) 入会金 ¥1,000

年会費 ¥6,000

スポーツ保険 ¥800

要保護・準要保護家庭の生徒への支援

■本年度の実績

【扶助対象者内訳】

1年生→5人 2年生→3人 3年生→1人

【返金額】

¥7,800→4人 (合計¥31,200)

¥6,800→5人 (合計¥34,000) 2期申請者

TSC入会案内 (会費等)

TSCホームページ、市内中学校に募集チラシとともに扶助制度について周知を図っている。

■クラブ会員ご入会案内

※入会時に下記必要経費をご納入頂くだけで月々の会費は不要です。(1種目の金額ではありません)
 ※複数のスクールスポーツ広場に参加できます!

区分	金額	備考
入会金	1,000円	入会初年度のみ必要となります。令和15年度からの継続会員は不要です。
年会費	住所区分 1期 2期 3期	入会時にお支払いください。
	山県市内 6,000円 5,000円 3,000円	入会期による年会費は次のとおり。
	山県市外 7,000円 6,000円 4,000円	1期(4月～) 2期(8月～) 3期(12月～) ※山県市民は身分証明書を提示してください。
中学3年生のみ	山県市内 半期4,000円 年間6,000円	中学3年生は会費期間が半期(4～9月)又は年間の選択ができます。
	山県市外 半期5,000円 年間7,000円	
保 険	中学生以下 800円	【スポーツ安全保険】 ●活動中と活動後等のための任意に適用されます。 ●中学生以下は全員加入。高校生以上は任意加入となります。 未加入者は自己の責任にて対応願います。
	# (ワイド) 1,450円	
	高校生以上 1,850円 65歳以上 1,200円	

※クラブでは、要保護、準要保護家庭の山県市内小・中学生会員について、年会費を扶助します。詳細はクラブ事務局にお問い合わせください。

■賛助会員 募集中!!

区分	金額	備考
サポーター	一口 500円	クラブ運営を支援していただける個人。二口以上の方には、クラブグッズをプレゼントいたします。
スポンサー	一口 5,000円	クラブ運営を支援していただける団体・企業。口数に応じて、各種名義書の交付を希望します。

「TSC募集チラシより(抜粋)」

TSC扶助制度の対象者と扶助内容

対象者

次の(1)、(2)に該当し、山県市内小・中学校に在籍する児童生徒の家庭

(1)生活保護法第6条第2項の規定による要保護者

(2)市町村教育委員会が就学援助費事務取扱要綱等によって認定した準要保護者

扶助内容

該当区分		年会費	入会金	保険
小・中学生	要保護	全額免除	1,000円	800円又は 1,450円
	準要保護	半額免除		
中学生	要保護	全額免除		
※11種目	準要保護			

※令和6年度 中学校部活の地域移行に係る国の実証事業対象11種目

- ・ハンドボール ・バドミントン ・バスケット女子 ・卓球 ・剣道
- ・ソフトボール ・ソフトテニス ・軟式野球 ・サッカー(9月からの予定)
- ・バレーボール女子【美山Sは4月から・高富Sは9月からの予定】 ・陸上

「TSC扶助制度についての案内より(抜粋)」

今後の課題と対応方針

■扶助制度の周知は図られてきたが、今後受益者負担と公的支援のバランスについて方針を明確にする必要がある。

総括・成果の評価・今後に向けて

●総括

1 山県市合同部活動の推進と体制整備

少子化が進む現状を見据えた取組である「山県市合同部活動」(令和2年度から推進)は、6年度の後期では、22部中17部(昨年度12部)と大きく増え、単一校部活動は4部(昨年度12部)と大きく減少している。来年度中には、すべての部が「合同部活動」となる見込である。

2 地域部活動への移行を推進

休日地域部活動に参加した部活動は、昨年度の運動系8種目9部から本年度は11種目12部に増えた。このうち、軟式野球は11月から地域指導者体制が確保できなくなり、現在は学校部活動として行っている。

中体連大会には、陸上と卓球の2種目がTSCで登録し、参加した。

3 指導改善と内容の充実を図る取組

指導者研修会について、年間4回実施した。生徒への指導に生かすことを大切にした取組を行い、コーチと生徒と一緒に学ぶ機会を提供することができた。

●成果の評価

- 山県市合同部活動種目の推進については、山県市中学校長会が市の方針を受けて、主体的に具体的な取組方針を発信したことが有効であったと考える。
- 休日地域部活動への参加については、各部活動関係者の理解が得られることを前提として進めており、コーディネーターやTSC事務局が相談に乗りながら進めてきた。
- 中体連等の大会への地域クラブでの参加については、陸上と卓球の2種目であったが、TSCとして大会参加基準を明確にしたことにより、判断がしやすくなった。
- 地域部活動を推進するために、地域指導者の確保と質の保障は最も重要な条件の一つである。研修会の開催にあたっては、指導者の希望や生徒への還元を大切にしながら研修会の内容を工夫することが大切である。

●今後に向けて

- 学校部活動を地域部活動へスライドさせることが目的ではなく、中学生にとって豊かな体験や学びの機会を提供することが大切になるため、学校側とも内容について検討していく。
- 指導者謝金について、休日学校部活動に従事した際の顧問への手当金額を参考として設定を見直していく。
- 総合型地域スポーツクラブと体育協会、スポーツ少年団、スポーツ推進委員による連携体制を構築し、中学生だけでなく、市民スポーツ活動の充実を図る。

中学生への意識調査結果

TSC中学生会員への意識調査結果報告【9月】

全体

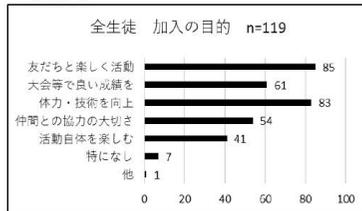
NPO法人Team-yamagata Sports Club

TSC中学生会員のみならず、意識調査への回答をありがとうございました。

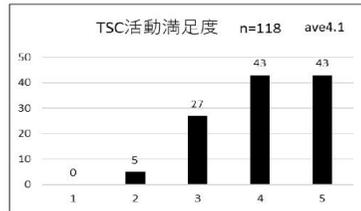
結果につきましては、TSC役員・理事、中学生スクールコーチで共有し、前回の意識調査の結果と合わせて、今後のTSC活動の充実・改善につなげてまいります。ご協力ありがとうございました。

スクール種目	・バレーボール8 ・ハンドボール28 ・剣道7 ・サッカー8
1,2年会員数のうち	・バスケットボール10 ・バドミントン10 ・卓球7 ・軟式野球11
119人	・ソフトテニス21 ・陸上競技6 ・ソフトボール3

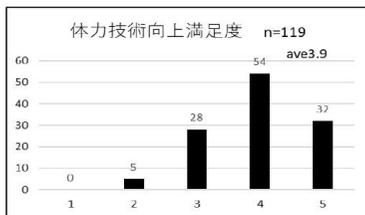
問1 加入のきっかけや目的 [複数可]



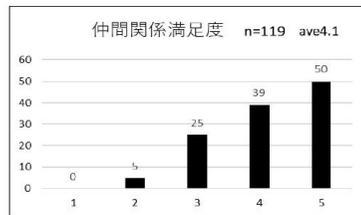
問2 TSCスクール活動の満足度



問3 体力や技能向上の満足度



問4 仲間関係の満足度



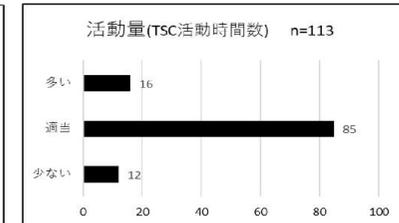
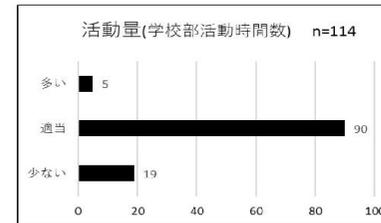
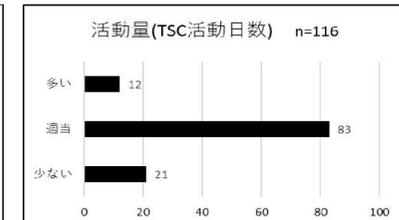
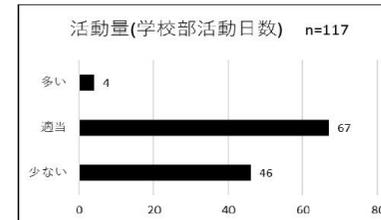
- 1 加入のきっかけや目的は、「友だちと楽しく活動、体力・技術を向上」が約70%と最も多かった。また、複数の項目を選択している生徒が殆どであった。
- 2 TSCスクール活動の満足度は、評価4と5が多く、平均4.1という結果であった。
(平均4以上は8種目で4.5以上は3種目、3点台は3種目)
- 3 体力や技能向上の満足度は、評価4が最も多く、平均3.9という結果であった。
(平均4以上は7種目で4.5以上は0、3点台は4種目)
- 4 仲間関係の満足度は、5が最も多く、平均4.1という結果であった。
(平均4以上は8種目で4.5以上は1種目、3点台は3種目)

【中学生会員への意識調査結果 - 1】

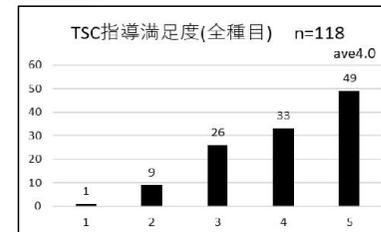
問5 現在の活動量(学校部活動含む日数や時間)について、どう思いますか。

*活動日数、活動時間について、当てはまるものに○印を付けてください。

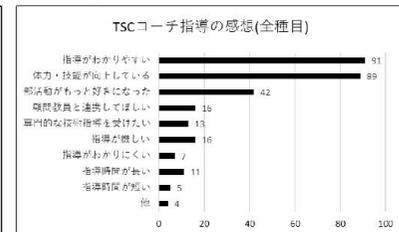
	学校部活動			TSC活動		
活動日数⇒	少ない	適当	多い	少ない	適当	多い
活動時間⇒	少ない	適当	多い	少ない	適当	多い



問6 コーチの指導の満足度



問7 コーチ指導の感想



- 5 活動量は、学校部活動については、約60%が適当、約40%が少ないとの回答であった。
TSCは、日数が70%、時間数が75%が適当との回答であった。
- 6 指導の満足度は、平均4.0であった。平均4以上が7種目(内4.5以上が4種目)であった。種目による差が見られた。
- 7 「指導がわかりやすい、体力・技能が向上している」は、それぞれ約75%であった。しかし、指導が厳しい・わかりにくい等といった感想も種目によってある結果となった。

【中学生会員への意識調査結果 - 2】

2.実証内容と成果②

中学生への意識調査結果

問8 部活動やTSC活動について、今後改善を期待することは何ですか。

今後の改善については、活動内容・活動量・休憩・指導・環境等について68の意見が出された。
活動内容及び指導内容・方法に関する意見が多くあった。

1 部活動・TSC活動の方針に関すること

- ・楽しく活動できている。・今のままの活動にしたい。
- ・部活動とTSCが同じ活動になって少しやりやすくなった。
- ・もっと楽しい活動にしてほしい。・体力をつけたい。・部活動はTSCと違うことをしてほしい。

2 活動頻度に関すること

- ・活動日数を増やしてほしい。・活動時間を短くしてほしい。
- ・日曜日や祝日を休みにしてほしい。・練習時間を守ってほしい。
- ・3時間あるからたくさん練習できて楽しい。・休憩時間を増やしてほしい。
- ・冬は平日部活動が全くないので、部活動をやってほしい。

3 活動内容に関すること

- ・基礎練習が大半なので、チーム練習の時間をもっと設けてほしい。
- ・給水時間をもう少しだけとってほしい。
- ・試合をもっとやってほしい。・もっと試合のように本番通りやっていきたい。
- ・普段からやっている人とあまり参加していない人がいっしょにやると練習にならない。
- ・もっと打つ時間を長くしてほしい。・基礎練習の時間を増やしてほしい。
- ・1・2年生が学年問わず仲を深めるために、1・2年生が多く関わるような練習をしたい。
- ・練習メニューを増やしてほしい。前衛と護衛をわけてそれぞれ練習したい。
- ・基本の動きもしっかりとできるようにしつつ、試合を増やしてほしい。
- ・もうちょっと実践的な練習をしたい。・お楽しみ会などがあるとよい。
- ・実践形式で練習をしたい。基礎がしっかりできているか確認したい。
- ・市内中学生の大会をやりたい。・雰囲気良く活動したい。

4 指導に関すること

- ・いろんなコーチがいてたくさんアドバイスをもらえるから成長してたのいい活動になった
- ・ソフトのTSCコーチは子どもへの思いを感じ安心して預けられます。
- ・動き方を一つ一ついい指導してほしいと思いました。
- ・もっと技術を教えてもらいたい。・フェイントを学びたい。・もっと専門的に教えてほしい。
- ・先輩が厳しい。コーチも厳しい。練習量が長くハード。
- ・同じ人に指導するのではなく、一人一人に指導してほしいと思う(TSCも)
- ・礼儀を教えてほしい(特に1年)。・もっと厳しくてもよいと思う。
- ・土曜日の先生が来たり来なかったりなので、ちゃんとした指導がされていない。
- ・レベルに合わせた指導をしてほしい。
- ・指導の際、悪かった点をもっと簡潔に話してほしい。
- ・指導が厳しくてやめる人がいるからそこを考えてほしい。

5 施設設備に関すること

- ・体育館で部活させてほしい。・大きな扇風機を設置してほしい。
- ・外周コースを整備してほしい。

6 移動、保護者負担に関すること

- ・他校での練習試合、送迎が難しいことがある。出来れば高富での練習を希望する。

7 その他に関すること

- ・今のところない。来年度、人数が増えて試合ができると良い。

【中学生会員への意識調査結果 - 3】

山県市立中学校部活動の地域移行プラン

山県市立中学校部活動の地域移行プラン

令和6年4月 山県市教育委員会

【目指す姿】

- 少子化の中でも、生徒がやってみたい活動に継続的に参加できる機会の確保
- 生徒が「楽しさや喜び」を感じ、自己実現する学びの機会の確保
- 地域の持続可能で多様なスポーツ・芸術文化環境を一体的に整備し、生徒の多様な体験機会を確保

【背景】

- 市内中学生人数
- 少子化の進行 (R5年 615人 → R15年 370人)
- 生徒のニーズの多様化

【山県市の方針】 学校部活動を地域ぐるみの部活動(地域部活動)に移行する

- 学校の枠を超えた部活動環境を整備する ⇒ 山県市合同部活動
- 地域移行の礎を握る運営団体・地域指導者を確保し、体制を整備する ⇒ 運動系・文化系地域団体との連携
- 生徒の志向性に対応する「プラスONE」の活動環境を整備する ⇒ 競技・楽しみ・健康・体験等の志向性プログラム

国が示すスケジュール

令和4年度	5	6	7	8
体制構築 ガイドライン改定		改革推進期間		地域クラブ活動充実 ガイドライン見直し

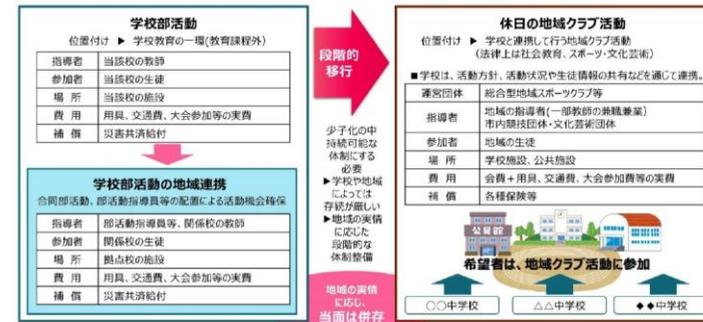
山県市の運営団体・実施主体

- 運動系部活動は、総合型地域スポーツクラブ NPO 法人 Team-yamagata Sports Club (TSC) に委託する。
- 文化系部活動は、まず地域指導者の確保を課題として取り組み、地域団体の協力を得て地域移行につなげる。

学校部活動の地域移行後の活動形態

平日	休日	平日	休日
学校部活動	学校部活動	学校/地域部活動	地域部活動

学校部活動の地域連携、地域クラブ活動への移行の全体像 (国ガイドライン)



学校部活動及び新たな地域クラブ活動の在り方等に関する総合的なガイドライン (スポーツ庁、文化庁 令和4年12月)

【学校/保護者説明資料 山県市教育委員会作成】

山県市立中学校部活動の地域移行プラン説明資料

「山県市立中学校部活動の地域移行プラン」について

令和6年4月 山県市教育委員会

1 地域部活動への移行の方針

国・県・市の部活動ガイドラインに沿った活動で、市教育委員会が認める地域クラブ活動に段階的に移行します。国・県は、地域移行期間を令和5年度～7年度末としています。

山県市においては、まずは「休日の部活動」を移行できる種目から進めていきます。令和8年度からは、「平日及び休日ともに地域部活動（地域クラブ活動）」として活動できるように、移行可能な種目から順次進めていく方針です。但し、状況により見直しも必要と考えています。

2 地域部活動への移行形態

地域移行の形態は、次の2つの形態となります。

(1)【連携型】学校/地域部活動

- 平日は、学校部活動。
- 休日は、地域部活動（地域クラブ活動）。
- 中体連大会は、学校チームとして出場。
- 競技団体主催大会は、学校又は地域クラブとして出場。

平日	休日
学校部活動	地域部活動

(2)【完全移行型】地域クラブ活動

- 市教委が認める地域クラブ活動。
- 平日・休日とも地域クラブで活動。
- 大会は、地域クラブとして出場。
- 完全移行は主に次のような活動形態。

平日	休日
地域クラブ活動	

3 これからの学校における部活動の位置付け

A 連携型部活動（平日は学校・休日は地域）

- ①スポーツ系… 市や学校で設置する種目
- ②文化芸術系…

B 地域クラブ活動（平日・休日ともに地域）

- ①スポーツ系… 中学生が参加できる
- ②文化芸術系… 地域クラブ活動プログラム

4 部活動プラスONE活動

生徒のみなさんのニーズに応えることができる地域のスポーツや文化芸術環境を整備します。

- 高いレベルで（トレーニング選抜レベルで）活動したい
- 部活動種目と違うことに挑戦したい
- 体験してみたい 交流して楽しみたい
- 健康づくりや体力づくりに生かしたい 等

5 部活動の運営主体

(1) 学校部活動の運営主体は、「学校」です。

- ・代表責任者は「校長」
- ・部の責任者は「顧問又は部活動指導員」

(2) 地域部活動の運営主体は、「地域団体」です。

- ・代表責任者は「団体代表者」（理事長等）
- ・種目責任者は「地域指導者（コーチ）」

(3) 地域団体の条件

「地域団体」が学校に代わる運営主体となります。運営主体となる「地域団体」には、「持続性・信頼性」が求められ、組織や指導体制・実績・学校との連携体制が充実していることが求められます。

山県市は、市内3中学校で構成する合同部活動をはじめ、運動系部活動の運営主体としてTSC(NPO法人チームヤマガタスポーツクラブ)に委託します。文化系は、現有する地域団体との協議をすすめ、体制を整備します。

令和5年度から一部種目を地域部活動のモデル種目として先行実施をしています。

6 地域部活動参加における経費負担

学校/地域部活動の参加は、「希望加入制」であり、「会費」が必要となります。これは、「社会人指導者への謝金や事務処理のための費用」です。

山県市は、保護者負担が高額にならないように、「地域団体」に対して一部補助金を出しています。

7 地域部活動(地域クラブ活動)指導者の配置と条件

中学生が活動の楽しさや喜びを感じ、自己実現に向けて意欲的に参加できるようにしていくために、指導者の役割が重要です。

特に、地域部活動（地域クラブ活動）の指導体制として強調されていることは次の内容となります。

- 体罰・暴言の根絶、指導者の教育的指導や配慮が理解されている。
- 勝利至上主義に陥ることなく、適切な練習量と生徒の自己実現の場に徹する。
- 科学的、一貫性のある指導を行う。

そこで、地域部活動（地域クラブ活動）指導者には次のような条件が求められています。

これまで学校部活動の指導に協力していただいている社会人指導者やTSC、体育協会等のコーチ、また、学校の先生で地域指導者として希望される方も同様となります。

【地域指導者に求められる主な条件】

- 部活動のガイドライン、指導方針の共有、体罰・暴言・ハラスメント根絶を遵守できる。
- 指導者は、公認指導者資格を有している。又は移行期間の間で取得する予定であること。
 - ・岐阜県地域指導者育成研修会受講(3年ライセンス)
 - 運動系・文化系指導者ともに、
 - ・種目により、日本スポーツ協会や中央競技団体公認指導者資格が必要な場合あり。
- 指導者が原則2名以上確保できる。
 - ・顧問の代わりとなる主任コーチ、実技指導の担当コーチで構成できる。

中学校体育連盟は、地域クラブ活動での大会参加条件として、国・県ガイドラインの遵守とともに、公認指導者資格の所持並びに大会運営への協力等を条件として求めています。

8 今後の地域移行に向けた取り組み方について

部活動の管理・運営・指導を「学校」から「地域」に移行していくことは、容易なことではなく、様々な課題を解決しなければならないと思います。

特に、参加を希望する生徒のみなさんにとって、よりよい環境となるように、学校と地域が連携・協働して取り組んでまいりますので、宜しくお願いします。

9 地域移行に関わるQ&A

Q1：地域移行すると休日の学校部活動は行ってもらえないのですか？

A1：地域指導者体制が整った種目から、休日活動は地域部活動に移行します。
但し、学校が設置する種目で地域指導者体制が整わない種目については、整うまでの間は学校部活動の実施について協議していきます。

Q2：社会人指導者の方が2名おられ、休日部活動以外に保護者クラブでの指導もしていただいています。こうした場合の地域移行の仕方はどのようになりますか？

A2：運動系部活動の地域移行先（運営主体）は、TSCとなります。
移行の手順は、次のようになります。
① 条件を満たす指導者が確保できる。
② 保護者会の承認を得る。
③ 学校、市教育委員会の承認を得る。
【例：運動系種目S】
スクールA【地域部活動】土曜日 午後
スクールB【プラスONE】日曜日 午前
移行後は、上の例のように、TSCのプログラムとして活動することになります。具体的な活動内容（日時・場所等）は、事前にご相談頂くと思います。
なお、地域指導者の確保が困難な場合は、事前に学校を通じてご相談ください。

Q3：市内に同じ種目の部活動が2校、2チームありますが、移行期間の間に山県市合同部活動1チームにしなければなりませんか？

また、こうした場合の地域移行はどのようになりますか？

A3：単独校での活動を希望される場合は、学校長と協議してください。
将来構想を踏まえ、いつまで単独チームとして活動するかを検討し、計画的に進めることが必要です。

2.実証内容と成果④

参考資料（活動写真）



【サッカースクール】



【バスケットボールスクール】



【バドミントンスクール】



【ソフトテニススクール】

2.実証内容と成果④

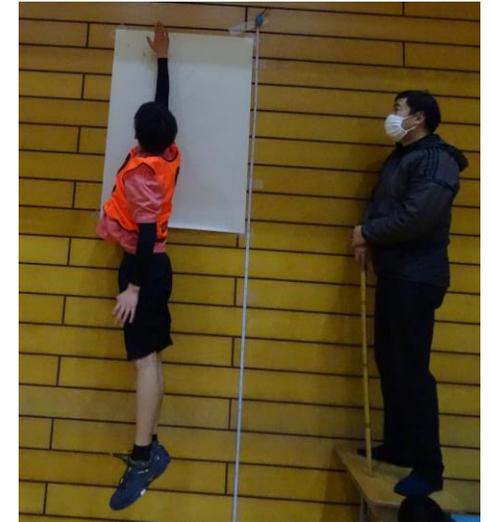
参考資料（活動写真）



【体力測定会参加者への説明】



【立ち幅とび】



【垂直とび】



【5方向走】



【反復横とび】

地域スポーツクラブ活動の実施に至るまでの合意形成プロセス

令和4年

推進会議
設置/協議

教員意識調査
地域団体打診

方針・計画
受け皿団体

令和5年

地域部活動
モデル先行実施

令和8年

地域クラブ活動
完全実施

令和9年

地域クラブ活動
平日も実施

「山県市合同部活動」開始

●市教委

- ・少子化と安定的活動保障
学校の枠を超えた参加環境

●経過

- ・令和2年度開始 2種目
- ・令和3年度 10種目
- ・令和5年度 11種目

●実施にあたって生じた課題

- ・拠点校への移動→バス運行
(水曜日放課後バス運行)

●実施内容、工夫した点 等

- ・合同部活動の必要性理解
- ・関係者の合意を得て

山県市地域部活動推進会議

●委員構成

- ・元大学教授・元教育長
- ・地域団体・保護者代表
- ・学校代表・教育長
- ・市教委担当

●経過

- ・年3回会議開催
- ・部活動の現状と課題
- ・山県市に合った方策

●実施にあたって生じた課題

- ・文化系の受け皿団体困難
- ・一律実施は困難

●実施内容、工夫した点 等

- ・一律でなく「できることから」
行う段階的に試行しながら
検証していく。

「地域部活動モデル事業」開始

●運営団体(運動系)

NPO法人TSC

●経過

- ・モデル種目の選定はTSCと
連携している部から実施

●実施にあたって生じた課題

- ・会費・移動負担・他クラブ
加入生徒等から合意が得
られなかった部があった。

●実施内容、工夫した点 等

- ・運営団体の運営や指導上
の課題に対して、コーディネ
ーターを中心に働きかけて
軌道に乗せるようにした。

「地域クラブ活動」完全実施

●方針

- ・山県市合同部活動移行
- ・休日部活動の完全移行
- ・平日放課後も完全移行
(希望教員は職専免で)

●課題と対策

- ・活動場所への移動支援
→送迎バス運行支援
→平日1日+土曜日
- ・大会への地域クラブ参加
→大会参加基準の明確化
- ・受益者負担と支援方針
- ・文化系部活動の地域移行
→指導者確保
→学校施設の使用方法
- ・多様なニーズと地域環境

3. 今後の方向性

地域連携・地域移行の推進に向けたロードマップ

山県市立中学校部活動の地域移行推進計画

令和6年4月 山県市教育委員会

年度		2020 令和2	2021 令和3	2022 令和4	2023 令和5	2024 令和6	2025 令和7	2026 令和8	2027 令和9	2028 令和10	2029 令和11	2030 令和12
提 言 等	スポーツ庁・文化庁 岐阜県	中学校部活動の在り方検討会議 (実証事業)			地域移行等活動整備事業 (実証事業/補助事業)			進捗状況を検証し、さらに改革				
	(公財)日本中学校体育連盟	国/県 総合的なガイドライン策定 (令和5年3月)			部活動改革推進期間			平日の部活動・大会参加の地域移行				
		学校単位(一部複数校合同)での参加			大会参加資格の緩和(令和5年度から地域クラブ活動の参加条件通知)							
市 方 針	山県市	第Ⅰ期「山県市合同部活動」設置と推進					第Ⅲ期「地域部活動」完全実施					
		部活動と地域クラブの連携(since2001) 平日は学校で・休日は地域で 街ぐるみで子どもを育てる			第Ⅱ期「地域部活動」段階的移行 学校部活動の地域連携		「新しいスタイルの学校部活動」スタート ○平日は学校で、休日は地域クラブで さらに「平日含めた完全移行」(実証事業▶拡充)					
市 立 中 学 校 部 活 動	高富中	432	432	402	420	415	409	411	410	393	358	324
	伊自良中	73	69	71	72	65	65	66	64	60	56	52
	美山中	139	139	138	123	106	99	96	96	90	80	70
	市内中学生数	644	640	611	615	586	573	573	570	543	494	446
	山県市合同部活動	運動：2部 文化：4部	運動：6部 文化：4部	運動：6部 文化：4部	運動：7部 文化：4部	運動：10部 文化：4部	○部員数の状況及び学校・生徒・保護者の合意形成 ▶ 学校単位から市単位への移行。 ○種目の追加/変更(生徒のニーズ、地域の環境)					
学校部活動 の地域移行				「休日」は地域部活動へ段階的移行 (保護者会等の合意形成)			休日部活動の地域移行 → 平日/休日部活動の地域移行					
学校部活動 の地域連携				地域指導者や専門家の派遣による 地域連携								
設置部活動				設置種目部等の検討			新しい部活動設置による運営					
市 地 域 ク ラ ブ 等 環 境	総合型地域スポーツクラブ NPO法人 Team-yamagata Sports Club	高富中学校区→山県市		○多様目・多世代・多志向プログラム・受益者負担とボランティアシップによる運営								
	スポーツ関係団体	中学生の参加できるプログラム提供 ～スクール、スポーツ広場、スポーツ教室～		運営団体・実施主体として 実証事業の実施と検証			小中学校連携・一貫指導体制の構築					
	文化芸術関係団体	小・中・高校生対象講座開設 舞台芸術振興		指導者の資質向上 ▶ 県・市研修会			JSPPO等公認指導者資格取得の促進					
	公民館/文化ゾーン	市民向け講座/サークル/催し		地域指導者、専門家の派遣 中学生の参加できるプログラム 運営団体・実施主体の確保			指導者協力/小中学生向け講座・催し/運営協力					